

10月27,29日の警察導入糾弾！被逮捕者、重傷者に対して

# 神野、建本は謝罪せよ

T教授 学生部長

学生部次長

川端署と学生部の黒い結託をうち解こう！

全学の学生、教職員の皆さん！

去る10月29日早朝、学生部の手引きで導入された警察権力=機動隊の不当かつ暴力的な捜索によって、学友1名が頭部に重傷を負い、意識不明のまま入院したことを怒りをもって報告する。警察権力=機動隊の不当捜索、暴力を糾弾するとともに、ここでは、警察権力と結託し、学生弾圧に血道をあげる学生部の責任を明らかにしておく。とくに、総長沢田を後だてにした実権者=建本学生部次長と、その追認者=神野学生部長については、あらゆる機会を通じて追及しぬくことを宣言する。

学生部長神野は、総長沢田一建本次長の意の下に、評議会、部局長会議あるいは広報などで、「27事件」たの「寮は不正常」だと並べたて、あたかも「悪者」は寮自治会や我であるかのごとく説明するだろう。しかし、事実は以下の通りである。すべての聰明な学生、教職員は事実に目を開き学生部の妄言に惑わされず、学生部への追及に立ち上がろう！

◎ 事実経過 ◎

A : 10月27日集会から学友不当逮捕まで

学生部はこの間、とくに78年以来、「文部省の規格に合わぬ」「会計検査院に指摘された」など、当局の都合のみを理由として、「寮は不正常」キャンペーンをはり、負担区分部分適用、炊飯削減など、寮生の生活を圧迫してきた。そして今秋も、学生の声を全て黙殺し、「暖房を止める」「修理をしない」と恫喝をかけ、果ては寮生に何の相談もなく、廢寮プログラムともいえる「基本方針」を部局長懇談会で承認させたのである。10月27日の集会はこれらに対する抗議と、話し合い要求の集会だった。

この寮自治会の集会に対し、学生部は、学生の声を素直に受けとめるどころか、川端署と密接な連絡のうえ、当日の機動隊配備=弾圧を実質的に要請したのである。そして、警察権力は学生部の思惑通り、学友1名をデモ中に不当逮捕し、連れ去った。

B : 学生部への抗議と、学生部の対応

27日、学友不当逮捕の直後、事実上の警備要請を行なった学生部に対して、我々と寮自治会は、すぐさま抗議行動に移った。学生部はこの時、学生の怒りを受けとめ、おのれの行動を反省すべきだった。しかし学生部は、ハレンチにも学生の抗議行動を「暴力行為」に仕立てあげ、警告書を学内にはりめぐらすとともに、川端署に被害届けを出し、警察権力による学生弾圧を要請したのである。

C : 29日不当捜索

当然のことながら、川端署は弾圧に乗り出した。29日朝7時には、機動隊を引き連れ、熊野寮をふくむ学内5カ所を「捜索」し、学生部長室を「現場検証」したのである。

ここで許し難いのは、学生部の対応である。川端署とはツ

ツウの仲である学生部は、前日から「学内捜索」の連絡を受け、秘かに学生部委員、学生部職員を早朝出勤させ、川端署に学生を「犯人」として説明するとともに、川端署の不当捜索に抗議するどころかその追認者として「立ち会った」のである。しかも、同学会との確約により、学内での捜索には学生が必ず立会うことになっているが、学生に連絡したのは学内捜索のわずか30分前、6時30分だったのである。川端署は何とかして学生の立会いを省き、勝手な捜索を行なうとしているが、学生部はその尖兵として働いているのだ。学生部自身が捜索を知り、学生部委員に連絡したのは遅くとも前夜である。さもなくば神戸に住むS教授が7時に出勤でまい。

D : 重傷者について

川端署の不当かつ暴力的捜索に対し、熊野寮生は果敢に抗議した。この時機動隊に殴られ重傷者が出て。怪我は、頭部。頭ガイ骨の縫合部が口を開き、意識不明に落ち入った。幸い今は意識を取りもどしたが、一歩あやまれば生命に関わることだった。

このことに関して、事実上の強圧要請を行なった学生部は今に至るも学生に対して一片の謝罪もせず、また、川端署への抗議もしていない。

学生部は謝罪、抗議を行なうとともに、学生の命を危険にさらす、事実上の警備要請=川端署への連絡、「被害届」を今後一切行なわないことを約束すべきである。

学生部が招き入れた機動隊の暴行は今回が初めてではなく、昨年12月15日集会を始めとして数知れないのだ。

※ 建本、神野を追及せよ！！ ※

学生弾圧を自らの任務と心得たタカ派総長沢田にかわいがられ、昨年春、学生部次長へと異例の昇進をとげた建本は、学生部内で学生に少しでもシンパシーがある職員を次々にクビにし、わずか一年あまりのうちに、学生部を寮譲りと学生弾圧の拠点として再編した。また神野は、この沢田一建本体制の追認者として学生部長の「任務」を全うしようとしている。この二名を頭目とした学生部を我々は、決して許さない！

全ての皆さん！我々とともに、学生部追及、廢寮化阻止の闘いに立ち上がろう！

京都大学 同学会  
全学自治会